

# 新居浜港長期構想(案) 【概要版】



令和8年5月  
新居浜港務局(新居浜港港湾管理者)



# 新居浜港長期構想の背景・目的

## 長期構想

目標年次 概ね20～30年後

港湾計画の改訂に先立ち、港湾利用者、関係行政機関、住民など様々な主体の意見・要請をもとに、概ね20年～30年先の将来の長期的視野に立った総合的な港湾空間の形成とそのあり方を構想・ビジョンとしてまとめるもの

## 港湾計画

目標年次 概ね10～15年後

10～15年程度先を目標とした港湾の能力、港湾施設の規模や配置などを定めるもの

### 新居浜港港湾計画（平成11年7月 改訂）

← 新居浜港港湾計画（平成28年 軽易な変更）

← 新居浜港港湾計画（平成30年 軽易な変更）

← 新居浜港・東予港(東港地区)港湾脱炭素化推進計画（令和5年9月策定）（関連計画）

- 新居浜港の港湾整備は平成11年7月に改訂された港湾計画(目標年次:平成20年代半ば)に基づき進めている
- 既定計画は目標年次を大幅に経過し、我が国の港湾の情勢や新居浜港を取り巻く動向が変化している中、新たな要請や課題が顕在化している
- そのため、新居浜港を取り巻く状況及び各種課題を整理し、概ね20～30年後を見据えた長期構想を検討する必要がある

### 新居浜港長期構想（今回策定）

港湾計画改訂

## <基本理念>

新居浜港が発展してきたこれまでの歴史や現在の利用状況を背景に、将来的に想定される社会経済情勢の変化や、新居浜港の背後圏に果たすべき役割を踏まえ、新居浜港の長期的なビジョンとしての基本理念を以下のとおり定めた。

## 基本理念

あかがねの歴史をつなぎ、未来を見据え、時代に即して地域を支え、進化し続ける港

- 新居浜港は住友系の工業港として発展し、企業城下町として新居浜市とその周辺地域の産業や経済の発展に貢献してきた。
- 脱炭素化の実現や、DX等新たな技術の開発、労働力不足など、社会情勢が大きく変化していく中で、これらの変化に対応しながら、新居浜市や周辺地域の発展、地域住民のウェルビーイングに寄与できる港をめざす。
- 新居浜港の課題や要請を踏まえたうえで、新居浜港の強み・特性を活かし、社会経済及び災害の不確実性に柔軟に対応できる拠点港としての発展を目指す。

# 新居浜港の目指すべき将来像

**基本理念** あかがねの歴史をつなぎ、未来を見据え、時代に即して地域を支え、進化し続ける港

【課題①】船舶大型化や貨物需要増大に対応した  
港湾機能の不足

【課題②】モーダルシフトの進展に対応した港湾機能の不足

【課題③】港湾物流ネットワークの連携不足

【課題④】産業構造の変化への対応

【課題⑤】港湾物流倉庫や企業誘致のための  
産業用地の不足

【課題⑥】デジタル技術の活用への対応

【課題⑦】港湾労働者不足や労働環境の  
改善への対応

国際競争力強化

労働力確保

モーダルシフトの進展

技術革新・DXの  
推進

【課題⑧】脱炭素社会の実現に向けた次世代  
エネルギーへの転換拡大への対応

【課題⑨】豊かな自然環境と産業との両立

カーボンニュートラルの実現

## 物流・産業 将来像①

臨海工業・地域経済の  
持続的発展と国内外の  
シームレスな物流を支  
援する新居浜港

【課題⑬】切迫する大規模自然災害や  
気候変動への対応

【課題⑭】港湾施設の老朽化・陳腐化へ  
の対応

港湾施設の維持・更新

国土強靱化

## 環境・エネルギー 将来像②

脱炭素に貢献し  
次世代へつなぐ  
新居浜港

## 防災・維持管理 将来像④

強く、しなやかで、  
くらし・産業を支え  
る強靱な新居浜港

地域活性化

## 観光・交流 将来像③

瀬戸内の自然・産業・歴史  
をつなぎ、人々が集い、  
交流する新居浜港

【課題⑩】自然・産業・歴史の地域資源を  
活用した賑わいの創出

【課題⑪】地元住民を中心とした来訪者の  
多様なニーズへの対応

【課題⑫】国内外の観光需要に対応する  
ための受入環境の整備

# 将来像実現に向けた戦略と取組の方向性

- 各戦略を検討するうえで、新居浜港内の5地区(本港地区、内港地区、東港地区、黒島地区、沢津・垣生地区)及び地区間の接続における整備方針を以下のように設定し、各整備方針に基づいた戦略・取組を検討した。

## ◆本港地区

- ・既存貨物(バルク貨物)の取扱強化
- ・モーダルシフトに対応した荷役機能強化
- ・DXによる荷役効率性の向上
- ・脱炭素化の推進に向けた港湾機能高度化
- ・次世代エネルギーの受入・供給拠点化

## ◆東港地区

- ・既存貨物(フェリー貨物)の取扱強化
- ・モーダルシフトに対応した荷役機能強化
- ・DXによる荷役効率性の向上
- ・港脱炭素化の推進に向けた港湾機能高度化
- ・産業用地の確保
- ・フェリー・クルーズ船の受入環境の整備
- ・地元住民・来訪者を対象とした賑わい空間の創出

## ◆沢津・垣生地区

- ・自然環境の保護

## ◆地区間の接続

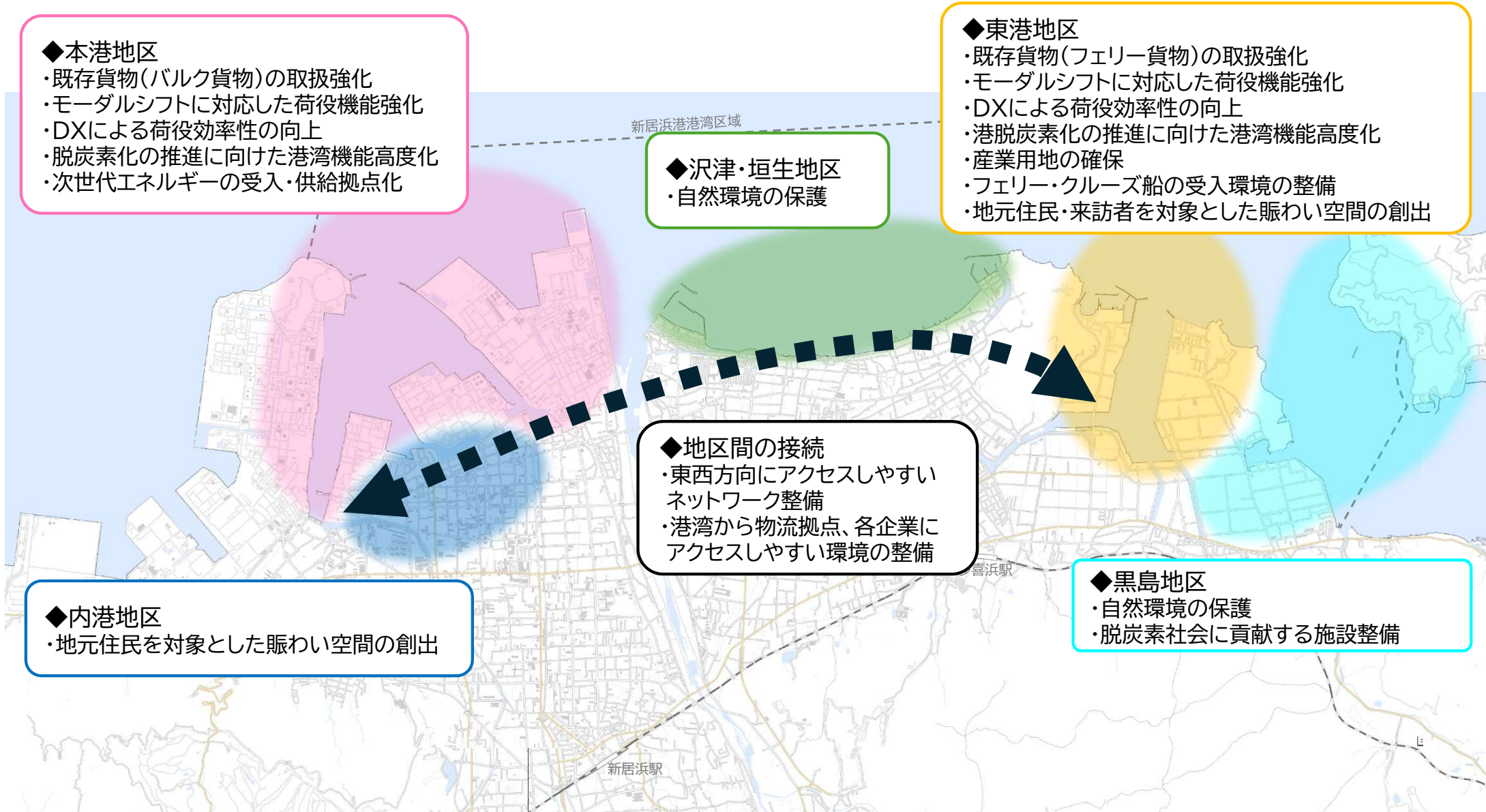
- ・東西方向にアクセスしやすいネットワーク整備
- ・港湾から物流拠点、各企業にアクセスしやすい環境の整備

## ◆内港地区

- ・地元住民を対象とした賑わい空間の創出

## ◆黒島地区

- ・自然環境の保護
- ・脱炭素社会に貢献する施設整備



# 空間利用計画(ゾーニング)

## ③ 地区別のゾーニングと取組展開(本港地区、内港地区)

- 本港地区、内港地区では主に物流・産業に関する取組を進めるほか、脱炭素の実現に向けた次世代エネルギー等の受入供給拠点形成に関する取組を進める。

